

NOTE

■事務局ノート

「松下幸之助の流儀」を読んで
PHP研究所
—日本人としての生き方・考え方

これからの時代をどう生きるか

“経営の神様”といわれた一人の日本人の言葉に、そのヒントがある！
松下幸之助の流儀として以下の文章が載っている

使えば使うほど、知恵は湧いてくる
困難であればあるほど、無限に湧いてくる
あきらめてしまえば、それで終わり
だから、あきらめない
日本の国難には、立ち上がる人がいる
道を拓く人が、かならず出てくる
「現実」を忘れてしまったとき
「夢」が夢のままに終わる
さまざまな花が、さまざまに咲き誇る
その自然本来の姿に「成功の姿」がある
松は松らしく、日本人は日本人として
立派に生きるよう、努力を続けていく
人間から感謝報恩の念を取り去れば
ものを建設せず、破壊するばかりになる
流れのないところ、水は腐る
日に日に進化しなければ、国家も腐る

全く同感！
毎日少しづつ、進歩し向上する人生を生きたい!!!

私たちは企業の発展を支えるアウトソーシングカンパニー。実績と信頼でお応えします。



業務内容

- 業務請負業 ● 人材派遣業 厚生労働大臣許可番号 (般-27-180005)
- 物流業務請負業 ● 内装仕上工事業 大阪府知事許可番号 (般-11) 第111514号
- 代行サービス業 ● 介護保険福祉事業 大阪府指定居宅サービス事業所第2773200940号

21世紀のアウトソーシング
株式会社 ナンワ

〒570-0039 大阪府守口市橋波西之町1-6-9
TEL.06-6998-4560 FAX.06-6998-4570
URL http://www.nanwa-net.co.jp/
E-mail nanwa.co@hi-ho.ne.jp
フリーダイヤル:0120-154-708

会員情報お待ちしております。申し込みは事務局まで。

昭和12年創立

平成24年6月25日発行



AKINAI Club
アキナイクラブ

〒541-0046
大阪市中央区平野町3-3-6
平野町 Kanビル 5F
アクティブ経営研究所 内
TEL 06-6228-8152
FAX 06-6228-8153
会長 坂本庄治
編集発行人 鏑方貞了

7月例会のお知らせ

『震災後の経営』

漫画家・漫遊書家・講演家
黒田 クロ先生

2011年3月11日。地面が震え、建物が壊れ、心も震えた。
歴史に残る大震災。その時、あなたはどこで何を考え、どう行動したでしょうか。また震災後3か月でどのように考え、行動するかによって、次の世代への位置づけが出来ます。大企業と言われている会社は、終戦後に動いた人たちです。混乱の時は、言い換えれば「チャンス」なのです。
地震により、今までの価値観が一瞬にして塗り替えられました。これから新しい価値観が生まれます。我が社、我が店、我は今何をすべきか……、天が教えてくれたのです。マイナスに考えるのではなく、プラス発想で行動してください。大切なのは、目の利に走らないことです。
これからは、「こころ」「健康」「環境」がキーワードになります。
起った現象にとらわれるのではなく、何が出来るかを考えていきましょう。

アキナイクラブ・申合せ

1. 自他を利する アキナイ精神を發揮する
1. 職業を大切に 研究につとめる
1. 時を尊ぶ
1. 愉快地 気軽に まじわる
1. 例会に出席する

〈講演者プロフィール〉

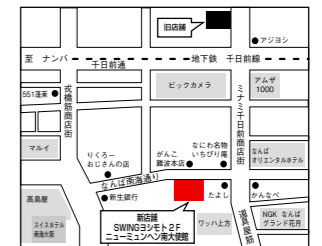
1995年 阪神大震災を大阪で経験
2011年 東日本大震災を東京で経験
1947年 徳島県生まれ。PHP研究所のハウツー本関係の漫画・イラスト作成で活躍する他、松下幸之助商学院の販促講師を1978年から続けている。
現在は年間200回に及びその発想はユニークでユーモアにあふれ、独自の視点から練りだした人生論をはじめ、子育て・家族・さらには商店や商店街の活性化、PTA・労働組合・各種地域団体・各業界の安全衛生大会で、好評を博している。

日時
平成24年7月17日(火)
12:00 ~ 15:00

場所
ニューミュンヘン南大使館
〒542-0075
大阪市中央区難波千日前12-35
SWINGヨシモトビル2F
TEL 06-6631-8827

会費
¥2,000円
(同伴者同額)

※会場準備の都合により7月11日までに欠席をご連絡下さい



名誉顧問: ◎上野一郎 ◎田中四郎 顧問: ◎大谷豊一 ◎塩路和子
名誉会長: ◎北橋茂登志 会長: ◎坂本庄治 副会長: ◎新川晃生 ◎不破常雄 ◎澤井まき子 ◎上田賢二
理事: ◎井上貴司 ◎網干輝雄 ◎牧田恭男 ◎松下哲也 ◎金星三代子 ◎門内 穂 ◎小田切和起 ◎小崎章年 ◎最上正太郎
◎吉田 誠
監事: ◎山根敬介 ◎野田邦雄 事務局長: ◎鏑方貞了

会員44名

5月例会レポート

『動物園革命』と『ミナミ(難波・天王寺地区)の活性化』



若生謙二先生

大阪芸術大学 芸術学部環境デザイン学科
教授 ^{わかこう} ^{けんじ} 若生 謙二 先生

私は動物園デザイナーでもありまして、天王寺動物園で最初の仕事をさせていただきました。最近、自治体の方々が天王寺動物園を見学に来られる機会が増えています。現在は、山口県宇部市、横浜市、長野県飯田市、東京都の上野動物園や多摩動物公園等の動物園再整備計画に携わっていますが、そこから緑のまちづくりに進めてゆくことができればと思っております。

従来の動物園は、珍しい動物を柵や堀の向こうに眺める場所でしたが、近年は動物が本来生息している環境に暮らす姿を観察できる場所へと大きく進化しています。野生動物の生息環境の基本は、森、草原、水辺などです。これらの自然環境を再現して動物の行動や習性を発揮させてやろうと取り組んでいます。これまでの展示は猿山にみられるように、上から見下げる形式が中心でしたが、見下げは無意識のうちに見下しの意識を育みます。これは保護の意識を育む場にはふさわしくないのです。逆転して動物をかるく見上げるようにしました。道幅も重要で、広くしてしまうと横一列になって話に夢中になってしまいますが、二人位が通れるようにすると、展示に集中します。隠して見せることも大切で、植物で先行を隠した先に動物のいるきれいな風景をみせると感動します。

動物園をつくる時に私は必ず実際に住んでいる環境を調べています。アフリカのサバンナ、草原、川辺の森、沼地、岩山、多様な場所があって、動物たちはそれぞれの場所に適応して暮らしています。

歩き回る動物を様々な角度から見ることができ

ます。園路はまっすぐだと、人の姿ばかりが見えるのでゆるやかに曲げて、先に何があるのかという期待感も演出します。植物は風景をつくるだけでなく、人の姿を隠して、緑陰で温度を下げるなど様々な効果があります。



みんなでハイ・パチリ

よこはま動物園ズーラシア「チンパンジーの森」を造るときには、ウガンダのキバレ国立公園に行き、チンパンジーの暮らす環境を観察し、設計にとりいれました。横に広がる樹木の枝に休むことや、葉っぱをたたんでベッドをつくる様子も観察しました。樹木や草をたくさん植えて、野生での行動をできるだけ動物園でもできるようにしています。メッセージを伝えるサインも重要で、一冊の図鑑をつくる位の仕事量になります。例えば、尻尾のないチンパンジーは猿ではなく、類人猿で人間の仲間であること等をわかりやすいように、絵本作家に描いてもらいました。長野市茶臼山動物園の「レッサーパンダの森」の設計にも携わり、これらのことを「動物園革命」(岩波書店)として出版させていただきました。これには、私が大学をでてサラリーマンをしながら、海外出張



園内を散策



若生先生の説明を熱心に聞き入るメンバー

で最先端の動物園の情報を学びながら、天王寺動物園と出会って、その改造計画に活かしてゆくことや、博士論文を仕上げてゆくこと等、私の生活史にもなっています。昨年4月23日の日本経済新聞「何でもランキングー生態がよくわかる動物園」では、天王寺動物園が1位になり、2位が旭山動物園、3位が長野市茶臼山動物園の「レッサーパンダの森」で、4位がよこはまズーラシアの「チンパンジーの森」という評価をいただきました。樹木を駆使して造りあげた生息環境展示で動物が暮らす様子が評価をうけたことがお分かり頂けると思います。

ズーラシアで「チンパンジーの森」を造った話をした席に、熊本市動物園の副園長がおられて、同園でも再整備計画中であるので、見に来てくださいということになりました。展示しているニホンザルの生息地である県内の相良村の山に調査に行き、里山と田園にくらすニホンザルの環境を再現する設計を行いました。はじめて、日本の動物の生息環境展示にとりくんだのですが、相良村の環境を再現することは、動物の展示で地域と動物園をつなぐこととなります。日本全国でこういうことが可能になります。山口県宇部市常盤公園動物園では、古い鉄柵と檻の動物園から、樹木をふんだんにとりいれて樹上をとびかうテナガザルの姿を眺めることができるように、設計をしているところです。長野県飯田市の動物園は、リンゴ並木の先にある崖の上にあります。そこからは南アルプスを展望できます。南アルプスを背景にそこに暮らす岩場のカモシカや枝をわたるニホンザルの姿をみることができれば、動物園から地域そのものがわかるようになります。

今、近鉄阿倍野駅に高さ300mのハルカスが建設中で、なんばから一目で見えるようになります。

す。でも、なんばとアベノはつながっていません。市内に残された数少ない緑地である天王寺公園のアベノとなんばを、天王寺動物園の「アジアの熱帯林」のような緑陰の道でつなぐと、なんばとアベノが緑の散歩道につながります。緑陰樹は実際に気温を2度近く下げます。天王寺動物園の次の計画は、北極から南極への地球縦断の旅をテーマにした「極地海洋ゾーン」で、これが完成すれば、入園者数は飛躍的に増えるでしょう。緑の散歩道は、増えた観客をさばくために観客をなんばに誘導することもできます。動物園革命から緑のまちづくりは、動物園と地域をむすびつけるだけではなく、都心のまちづくりにもつながります。それでは、「動物園から緑のまちづくり」ということで、ビデオを見ていただくことにしましょう。

【ビデオ上映】

連休にテナガザルの野生の姿を見るために、スマトラ島に行ってきました。蛭や生い茂る草と格闘しながら、山の中のテナガザルを探しました。一日かけて何秒間かの時間ですが、動物園にくらすものと違い、樹林を上下左右に機敏に動く様子を撮影することができました。マレーシアの動物園でもテナガザルを見てきましたが、樹林を配して、彼らが動く環境を整えてやると、動物は活発に動きます。天王寺動物園は生息環境展示の元祖です。次の計画である、北極から南極への地球縦断の旅では、ホッキョクグマやアシカが縦横に動く環境をつくります。この「極地海洋ゾーン」から、なんばにつづく緑のまちづくりをぜひ、実現したいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

本日はありがとうございました。

本当の生ビールの美味しさを知っていますか。

SAPPORO BEER RESTAURANT

株式会社 ニューミュンヘン

本社：542-0074 大阪市中央区千日前1丁目8番20号 電話番号：06 (6213) 0132
大阪・神戸



ホームライスの店
味に輝く

北極星

本社	06-6632-1591
心斎橋本店	06-6211-7829
堀江店	06-6531-0453
堺東店	072-222-2753
阿倍野店	06-6629-0863
泉北店	072-294-3392
淀屋橋店	06-6227-4156
難波店	06-6631-0656
天保山店	06-6576-5823
梅田店	06-6344-3999